

2級 第2予想 解答・解説

第1問 (20点)

解答

	仕		訳		
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
1	当座預金 電子記録債権売却損	331,520 4,480	電子記録債権	336,000	A
2	未収入金 有価証券売却損	408,000 12,000	売買目的有価証券	420,000	B
3	営業外支払手形 支払利息	560,000 22,400	当座預金 前払利息	560,000 22,400	B
4	当座預金 創立費	22,500,000 250,000	資本金 資本準備金 現金	13,500,000 9,000,000 250,000	B
5	売掛金 売上原価	300,000 225,000	売上 商品	300,000 225,000	A

A: 必ず取りたい B: できれば正解したい
 C: 問題から写すだけです D: 得点自体ムズカシイ

仕訳1組につき4点 合計20点

第2問 (20点)

解答

問1

銀行勘定調整表

平成28年3月31日

(単位: 円)

企業の当座預金勘定の残高 <input type="checkbox"/> (2,548,800)	銀行の残高証明書の残高 <input type="checkbox"/> (3,027,600)
加算: [①] <input type="checkbox"/> A ★ (336,000)	加算: [②] <input type="checkbox"/> A ★ (120,000)
減算: [③] <input type="checkbox"/> A ★ (147,600)	減算: [④] <input type="checkbox"/> A ★ (410,400)
(2,737,200)	<input type="checkbox"/> A ★ (2,737,200)

問2

	企 業 側 の 修 正 仕 訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	当座預金	A ★ 336,000	未払金	336,000
②	仕訳なし	A ★		
③	現金	A ★ 147,600	当座預金	147,600
④	仕訳なし	A ★		

問3

現金過不足の金額 ¥ B ★ 18,800 (過剰 ・ 不足)

(注) () 内の「過剰」または「不足」を○で囲むこと。

A: 必ず取りたい B: できれば正解したい
 C: 問題から写すだけです D: 得点自体ムズカシイ

★ 1つにつき2点 合計20点

第3問 (20点)

解答

		損 益 計 算 書			
		自平成27年4月1日 至平成28年3月31日		(単位：円)	
①	I 売上高	(<input type="checkbox"/> A ★	1,500,000)		
	II 売上原価				
⑤	1. 期首商品棚卸高	(<input type="checkbox"/> O	31,000)		
⑤	2. 当期商品仕入高	(<input type="checkbox"/> O	720,000)		
	合計	(751,000)		
⑤	3. 期末商品棚卸高	(<input type="checkbox"/> A	25,000)		
	差引	(726,000)		
⑤	4. 棚卸減耗損	(<input type="checkbox"/> A ★	2,500)		
⑤	5. (商品評価損)	(<input type="checkbox"/> A ★	2,100)	(730,600)
	売上総利益	(769,400)		
	III 販売費及び一般管理費				
⑦	1. 給料	(<input type="checkbox"/> A	202,000)		
⑧	2. 保険料	(<input type="checkbox"/> A ★	27,000)		
⑥	3. 減価償却費	(<input type="checkbox"/> B ★	102,600)		
③	4. 貸倒引当金繰入	(<input type="checkbox"/> A ★	2,900)	(334,500)
	(営業利益)	(434,900)		
	IV 営業外収益				
④	1. 有価証券利息	(<input type="checkbox"/> B ★	2,000)		
④	2. 有価証券評価益	(<input type="checkbox"/> A ★	3,500)		
⑨	3. 受取利息	(<input type="checkbox"/> A ★	1,500)	(7,000)
	V 営業外費用				
⑩	1. 支払利息	(<input type="checkbox"/> A	11,500)		
⑨	2. 貸倒引当金繰入	(<input type="checkbox"/> A ★	3,000)	(14,500)
	(経常利益)	(427,400)		
	VI 特別利益				
	1. 固定資産売却益	(<input type="checkbox"/> O	6,000)		
	VII 特別損失				
	1. 災害損失	(<input type="checkbox"/> O	2,400)		
	税引前当期純利益	(<input type="checkbox"/> ☠	431,000)		
⑪	法人税、住民税及び事業税	(<input type="checkbox"/> ☠	129,300)		
	(当期純利益)	(<input type="checkbox"/> ☠	301,700)		

* 上記の○番号は、解説の番号と対応しています。

A : 必ず取りたい O : 問題から写すだけです
 B : できれば正解したい ☠ : 得点自体ムズカシイ

★ 1つにつき2点 合計20点

第4問 (20点)

解答

材		料	
5 / 1	月初有 高	550,000	5 / 31 消 費 高 (A★3,960,000)
5 / 31	仕 入 高 (A★3,855,000)		" 原 価 差 異 (A★20,000)
			" 月 末 有 高 425,000
		(4,405,000)	(4,405,000)

製 造 間 接 費			
5 / 31	間接材料費 (A★110,000)	5 / 31	予定配賦額 (A★1,500,000)
"	間接労務費 900,000	"	原 価 差 異 15,000
"	間 接 経 費 505,000		
	(1,515,000)		(1,515,000)

仕 掛 品			
5 / 1	月初有 高 (B★1,400,000)	5 / 31	完 成 高 7,500,000
5 / 31	直接材料費 (B★3,850,000)	"	月 末 有 高 2,500,000
"	直接労務費 3,250,000		
"	製造間接費 (A★1,500,000)		
	(10,000,000)		(10,000,000)

買 掛 金			
5 / 31	現金支払い (B★2,600,000)	5 / 1	月初残高 540,000
"	月 末 残 高 300,000	5 / 31	材料仕入高 (B★2,360,000)
	(2,900,000)		(2,900,000)

- A: 必ず取りたい O: 問題から写すだけです
- B: できれば正解したい X: 得点自体ムズカシイ

★ 1つにつき2点 合計20点

第5問 (20点)

解答

A社は直接原価計算方式の損益計算書を採用している。直接原価計算方式の損益計算では、原価（製造原価、販売費および一般管理費）を（①A変動費）と（②A固定費）とに分解し、売上高からまず①を差し引いて（③A貢献利益）を計算し、③から②を差し引いて営業利益を計算する。

A社の直接原価計算方式の営業利益は1,250,000千円であるが、全部原価計算方式によると営業利益は（④B1,350,000）千円となる。この営業利益の差は、全部原価計算方式において期末棚卸資産に含まれる（⑤X固定費）の分である。

A社の貢献利益率は（⑥A40）%、損益分岐点販売量は（⑦A7,500）台である。損益分岐点の販売量と実際の販売量との差を安全余裕度というが、A社の安全余裕度は（⑧B12,500）台である。

A社の売上高営業利益率は25%である。売上高営業利益率30%の営業利益を達成するために必要だった売上高は（⑨X7,500,000）千円であり、そのときの③は（⑩X3,000,000）千円である。

- A: 必ず取りたい O: 問題から写すだけです
- B: できれば正解したい X: 得点自体ムズカシイ

①～⑩ 各2点 合計20点